

入学式挨拶

皆さんお早うございます。ご紹介いただきました同窓会会長の大久保です。皆さんにご入学のお祝いを申し上げます。

伝統ある石神井高等学校は先月高校六十五期生を送り出し、旧制中学四回を含めて延べ二万五千名を超える同窓会メンバーを擁することとなりました。三年後、無事卒業された皆さんを六十八期目の同窓会メンバーとして迎えられるよう祈念しております。

しかしながら同窓会としては皆さんをただ待っているだけでなく、皆さんが石神井高校で日々勉強し、部活動に没頭できるような様々な支援させていただいております。

現在同窓会は、先輩の方々からの寄付により「教育支援基金」という基金を創設して現役の石神井高校生の教育活動の経済支援を行っており、学校と生徒双方からの要望に応えようとしております。こんなことをしてもらいたいという要望がございましたらどうぞ同窓会にご提案ください。同窓会で有効性を検討したうえで支援させていただきます。

石神井高校は文武両道の伝統で名を馳せています。自由を尊重する校風は、自らの責任の下で高校生に相応しい自らの判断に基づく行動を許しています。

旧制中学初代校長の丸山正雄先生は「石神井」の名前を分析して、石のような硬い意志を持ち、神のような崇高な気持ちを持った、井戸のような深みのある礼儀作法をわきまえた人間になれ、これ即ち石神井精神であると仰っておられました。皆さんも是非この考え方を参考にしてください。

卒業生の中には、例えば、サッカーの公式審判員、モータースポーツ研究の世界的大家、世界を股に掛けて活躍する実業家、第一線のコピーライター、デザイナー、タレントもおり、皆さんのこれからの目標ともなる先輩がたくさんいます。ぜひ、同窓会を上手に利用して石神井高校での勉強、部活動を楽しいものにしてください。

改めて、本日はおめでとうございます。これからも一緒に石神井位生活を楽しんでください。

平成二十五年四月九日

石神井高等学校同窓会会長

大久保 利一